

UNHCR 駐日事務所

〒107-0062
東京都港区
南青山6-10-11
ウェスレーセンター

Tel 03-3499-2011
Fax 03-3499-2272
www.unhcr.org/jp/

2020年4月20日

カレン・ファルカス UNHCR 駐日代表 着任



このたび、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）第13代駐日代表に、カレン・マデリーン・ファルカス（オーストラリア国籍）が着任しました。

ファルカスの UNHCR でのキャリアは 1982 年から 35 年以上にわたります。

スイス・ジュネーブ本部では、監察官（2017-20 年）、人事管理局長（2013-16 年）、事業リスクマネジメントに関する副高等弁務官上級アドバイザー（2012 年）、財務官／財務・総務局長（2000-11 年）など組織の中核を担う役職を歴任しました。

また、難民支援の現場での勤務経験も豊富で、ギリシャの UNHCR アテネ事務所代表をはじめ、コンゴ民主共和国、イラク、北マケドニア共和国、南アフリカ共和国などで、緊急対応などを担当しました。

財務行政学士と国際機関マネジメント科学修士号を取得し、監査法人「PricewaterhouseCoopers（PwC）」での勤務経験もあります。また、現在は「The Institute of Managers and Leaders（IML）」にも研究員として籍を置いています。英語とフランス語が堪能です。

今回、世界も日本も、新型コロナウイルスという共通の脅威に直面する中での着任となりました。

新型コロナウイルスのパンデミックは、UNHCR の活動にも大きな影響をおよぼしています。世界各地の難民、国内避難民、無国籍者などに、保護や支援、必要とされるサービスを届ける中で、これまでに経験したことのない困難が生じています。

そんな状況においても多くの政府が表明している継続的な支援を受けて、UNHCR スタッフ一同、今必要としている人に支援を届けるための活動に全力を注いでいます。

UNHCR の人道支援活動において、日本は長年にわたる重要なパートナーです。このパンデミックとの闘いにおいても、一人ひとりの命を救うために、政府や企業、市民社会など、日本の皆さんとさらに連帯を強めていきたいと考えています。

<UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）について>

1950 年設立。難民、国内避難民、無国籍者などを国際的に保護・支援するため、世界約 135 カ国で活動。難民問題の解決に向けて多様なパートナーと連携し、食糧やシェルターの提供、人権の保護、生活再建に向けた支援などを実施。1954 年、1981 年にノーベル平和賞を受賞。本部はスイス・ジュネーブ。

<本件に関するお問い合わせ>

UNHCR 駐日事務所 広報官・守屋
03-3499-2042 / moriya@unhcr.org